

福祉サービス第三者評価結果報告書【平成31年度(2019年度)】

2020 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 101-0041
所在地 東京都千代田区神田須田町1-9
相鉄神田須田町ビル203

評価機関名 株式会社 福祉規格総合研究所

認証評価機関番号

機構 03 一 109

電話番号 03-3258-0348

代表者氏名 代表取締役 林 俊哉



印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	① 後藤 康浩		経営	H1201002
	② 杉浦 慎也		福祉	H0702029
	③ 明石 美絵		福祉	H1801026
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	美原保育園			
事業所連絡先	〒	143-0012		
	所在地	東京都大田区大森東1-28-2		
	TEL	03-3761-1855		
事業所代表者氏名	園長 弁間 晴美			
契約日	2019年 11月 8日			
利用者調査票配付日(実施日)	2019年 12月 2日			
利用者調査結果報告日	2020年 2月 10日			
自己評価の調査票配付日	2019年 12月 2日			
自己評価結果報告日	2020年 2月 10日			
訪問調査日	2020年 2月 17日			
評価合議日	2020年 3月 19日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区立保育園から民営化され7年目を迎える。民営化初年度から連續して第三者評価に取り組み、継続して当社が担当させていただいている。ただし、多様な視点で評価を行うため、評価者の一部は替えている。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- { 機構が定める部分を公表することに同意します。
 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
 別添の理由書により、公表には同意しません。

2020年 3月 31日

事業者代表者氏名 園長 弁間 晴美



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>1)安らぎと楽しさ、個性を引き出す保育 2)五感を育む保育 3)地域との連携 4)保護者が気軽に相談や意見、要望が出せる関係づくり 5)職員の資質の追及とより良い労働条件</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>協調性があり、自身で考え行動ができる人間 人に対して、思いやりの気持ちを持てる人間 自己研鑽のできる人間</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの人権を尊重し、大切に対応する 子どもたちにとって何が良いかを一番に考えられる保育をする 人の話や意見を聞く姿勢を持つ</p>

調査日時点の利用者の全世帯を対象とした。子どもの総数は114名、世帯数は92世帯である。

調査対象

調査票と返信用封筒の配布を事業所に依頼した。回答後、利用者より評価機関宛てに直接郵送してもらった。

調査方法

利用者総数	114
利用者家族総数(世帯)	92
共通評価項目による調査対象者数	92
共通評価項目による調査の有効回答者数	36
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	39.1

利用者調査全体のコメント

36名の回答があり、回答者割合は4割弱であった。総合的な園の感想として「大変満足」が18名、「満足」が16名と、有効回答数の9割強を占める結果となっている。

自由意見では「子どもの発達に合わせてよく見ていただいていると思います。話しかけやすい雰囲気もあるのでちょっとしたことも相談しやすいです。安心して預けています。ありがとうございます」、「毎日、仕事をしている間に預かって頂いて本当に感謝しています。保育園での出来事や成長を報告してくれるのも嬉しいです。とても信頼のできる保育園です」、「いつも大変お世話になっております。子どもも毎日楽しそうに登園し、楽しかったこと何をしたか、たくさん話してくれます。お迎えの時も、その日あったこと、転んで○○を打ったなどもしっかり伝えてくれますので、とても有難いです」などのコメントが多くあった。

意見・要望として「保育士さんによつては、引き渡時『特に変わりなしで元気に過ごしてます』のみの内容なので、忙しいとは思いますが、もう少し出来事の内容を教えてほしい」などが出ていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	36	0	0	0
全ての方が「はい」と回答している。「友だちとの関わりや親以外の大人の関わりはとても大切だと思っております」、「家ではなかなかできない泥遊びや寒天遊びをさせてもらい感謝しています」、「トイレトレーニングもしていただいてとても助かっています」などのコメントがあった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	35	1	0	0
ほぼ全ての方が「はい」と回答している。「保育参観をしてみて、とても楽しそうに過ごしているのがわかりました」、「リズム遊びや紙芝居・絵本など楽しそうにしています」、「保育園で経験したことをとても楽しそうに話してくれます。また、クッキングなどで作ったメニューを家でも一緒に作ってみるなど、園での経験が親子のコミュニケーションになって私も嬉しいです」などのコメントがあった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	33	3	0	0
9割強の方が「はい」と回答している。「いつも美味しい栄養のある食事で感謝しています」、「イベント食は特に楽しみにしています」、「連絡帳を見るとよく食べているようです」などのコメントがあった。意見・要望として「何才だからこの大きさで食べるというところがあり、その子の噛む力や食べる能力に合わせた対応がされていない時もあると感じた」などが出ていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	36	0	0	0
全ての方が「はい」と回答している。「毎日、違う公園に遊びに行ったり、園内で他クラスと交流する機会があつたりと、とても充実していて親としても子どもたちにとってもありがとうございます。子どもたちもとてもびのびと過ごしています」などのコメントがあった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	34	0	0	2
9割強の方が「はい」と回答している。「兄弟の通院でお迎え時間が少し遅くなってしまう時でも融通を利かせてくれ、とても感謝しています」、「遅れる時は連絡を入れますが、柔軟に対応していただけて助かっています」などのコメントがあった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	19	16	1	0
5割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「門のセキュリティは少し不安な時があります」、「戸外活動の際、保育者の人数が少ないと感じることがあります。1・2才には手厚く配置していただきたいです」、「建物が古いだけに、耐震工事がされていても心配でならない」などが出ていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	27	9	0	0
7割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「平日と土曜を活用してほしい」などが出ていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	30	4	2	0
8割強の方が「はい」と回答している。「ちょっとしたことでも相談しやすいです」、「親身になって話を聞いてくれるので安心して相談できています」などのコメントがあった。意見・要望として「担任の先生は忙しく、なかなかゆっくりお話しができません」、「その年齢の姿などを踏まえて話をされる方が少ないと思う」などが出ていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	33	3	0	0
9割強の方が「はい」と回答している。「毎日お掃除して下さる方をお見かけします」、「いつも隅々までお掃除して下さっているように思います」などのコメントがあった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	24	9	2	1
7割弱の方が「はい」と回答している。「以前に比べると、すれ違いざまにたわいもない話(子どもの園での様子)をして下さる方が増えた気がします」などのコメントがあった。意見・要望として「先生の言葉遣いが気になる時があります」、「他のクラスの先生で、笑顔なく子どもと接している方がいた。子どもにも伝わると思う」、「ジャージは少しだらしなく見えます」などが出ていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	29	7	0	0
8割強の方が「はい」と回答している。「手当でも看護もケアがよくされています」などのコメントがあった。意見・要望として「ケガ報告の際、他クラスの職員だと詳細をわかっていないのできちんと引き継ぎをしてほしい」、「後日の報告があるので、その日のうちに教えてほしいです」などが出ていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	23	8	1	4
6割強の方が「はい」と回答している。「子どもと必ずしっかり話をしてくれているところ、理解できるまで何度も話をしてくれている点は本当に保育者として尊敬しています」などのコメントがあった。意見・要望として「けんかをしてケガをした時、誰にされたかを教えてほしいです。逆にケガをさせてしまった時も教えてほしいです」、「家で子どもからケンカをしてなくられた、つねられたの報告が2回はあり、園からはなかった。職員が関わったようだが報告がないと不信に感じてしまう」などが出ていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	31	5	0	0
9割弱の方が「はい」と回答している。「(対応されると)すごく思っています」、「一番大変な時期ですが、ちゃんと話し合ってくれることがわかります」などのコメントがあった。意見・要望として「先生によっては気になる時があります」などが出ていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	28	6	0	2
8割弱の方が「はい」と回答している。「他から聞いたことはないので大丈夫だと思います」などのコメントがあった。意見・要望として「他の保護者が周りにいるところで言われたことがあります」などが出ていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	30	5	1	0
8割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「保育士さんによって異なるため統一してほしい」、「引き継ぎの先生とかだとあまり説明ない時が多いです(体調だけおわり)」などが出ていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	26	7	1	2
7割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「若い先生が多いのか、上手く伝わらない(返事が意に添っていない)時は諦めてしまう」などが出ていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	12	10	4	10
3割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「わかりやすくという点では不明である」などが出ていた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.	共通評価項目 カテゴリー1
1 リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1) 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知 している	評点(○○)
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○ 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○ 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表 明し、事業所をリードしている	評点(○○)
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○ 非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○ 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえ て意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(○○○)
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○ 非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○ 非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて いる ○ 非該当
カテーテリー1の講評	
父母会との意見交換会に園長・主任が出席して信頼関係の構築に努めている 区立保育園を民営化し7年目を迎えるが、今年度も引き続き、父母会との意見交換会に園長・主任が出席して信頼関係の構築に努めている。保護者アンケートの結果にもある通り、当法人への理解が深まっていると感じている。法人理念や園の保育目標等を事業所内に掲示し、ホームページでも公開している。保護者に対しては、法人理念、保育目標、保育園概要を入園のしおりに記載しているほか、入園式等、園長のあいさつ時にも話に盛り込んで伝えている。職員に対しては、法人や園が大切にしていることについて、さらに理解を深めていきたいと考えている。	
新園長は、現場の把握・理解と職員指導にさらに力を入れていきたいと考えている 経営層をはじめ職員の役割と責任は、園規則で明示している。また、経営層の役割は、法人内職員向けの職員報「やまとぎ」でも伝えている。組織として園長の下に主任、保育リーダーを2人置いている。今年度の途中に園長が急遽交代となつたため、今回の保護者アンケートでは戸惑いの声も聞かれた。新園長は法人外から招き、現場の把握・理解と職員指導にさらに力を入れていきたいと考えている。園内では、リーダー会議、職員会議などを開催している。職員会議では、報告事項を必要最低限とし、職員間での意見交換を増やしている。	
法人園長会議・主任会議を中心に、法人内統一のマニュアル作りに取り組んでいる 運営に関する重要事項は、法人内の各保育園の責任者が集まる園長会議で討議している。そのほか法人内の他園と合同で主任、看護師、栄養士など職種別に定期的に集まり、共通の課題に取り組んでいる。法人園長会議・主任会議を中心に、法人内統一のマニュアル作りに取り組んでいる。法人内の決定事項は、リーダー会議、職員会議において伝達・周知している。パソコン内に共有フォルダを作成し、職員間の連絡事項や法人内の他園の情報を共有できるようにしている。	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
評点(○○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
行事後にはアンケートを配布し、感想や意見を翌年の企画に活かすようにしている		
毎年度第三者評価に取り組み、利用者調査を通じて保護者の意向を把握している。園に寄せられた要望や質問に対し、園として可能な限り対応している。今年度も引き続き、父母会との意見交換会に園長・主任が出席して信頼関係の構築に努めている。各行事後にはアンケートを配布し、保護者の感想や意見を把握し、翌年の企画に活かすようにしている。職員の意向は、第三者評価の職員自己評価や、園長との個人面談などから把握している。地域の待機児童解消のために、今年度も引き続き定期利用保育事業を行っている。		
職員の育成を図るため、これまで試行であった人事考課を今年度から正式導入している		
都や区の社会福祉協議会や、法人内他園からの情報を基に保育業界の情報を収集している。当園は法人の既設園と行政区が異なるため、地域の子でニーズについては、区の私立保育園連合会や区が主催する研修に参加して把握している。中長期の計画は、理事会を中心に検討している。子育てニーズに対応して保育園の数を増やしており、法人内の職員が増えていく中、職員の育成を図るために人事考課を試行していたが、今年度から正式に導入している。年度の事業計画は、行事などについて職員の意見を聞いた上で園長が中心となり立案している。		
老朽化にともなう保育室の修繕工事を順次行い、今年度は0歳児の保育室を改修した		
予算の執行状況は、園長・事務長が確認し、必要に応じて補正予算を組んでいる。事業計画書には今年度の基本方針、重要課題、目標を明記し、質の高い保育を目指す上での取り組み内容を示している。老朽化にともなう保育室の修繕工事を順次行っている。今年度は0歳児の保育室の環境整備に取り組んだ。次年度は2階のトイレの改修を行う予定である。保育室の有効面積の都合により定員数の減員が予定されているため、運営面での計画的な対応を進めている。		

カテゴリー3			
3 経営における社会的責任			
サブカテゴリー1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当	

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		
		評点(○○○)
評価 ●あり ○なし	標準項目 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
保護者からも声を掛けてもらえるよう、職員紹介の掲示を一年中行っている 就業規則において服務の章を設けて、職員の守るべき規範や倫理などを明示している。法人としてプライバシーマークの取得に取り組み、子どもや保護者に関する情報の取り扱いについて様々な仕組みを取り入れている。職員は守秘義務について誓約書を提出している。開園初年度から毎年度、第三者評価に取り組み、結果を公表している。園の情報を地域の掲示板に掲示している。法人としてホームページを開設しており、そのなかで当園のサイトを公開している。保護者からも声を掛けてもらえるよう、職員紹介の掲示を一年中行っている。		
地域行事に参加するなど、地域とのつながりをさらに強めていきたいと考えている 苦情解決の仕組みを整えている。目的、受付担当者・解決責任者、第三者委員の氏名と連絡先、解決の方法等を保護者に説明している。苦情解決のための第三者委員を3名に委嘱している。保護者の意見や要望を収集するため、園内に意見箱を設置している。地域の関係機関とのネットワークとして、区の私立保育園連合会や地域ネットワーク会議に参加している。地域の関係機関や地域自治体などとのつながりはまだ希薄であると考えており、地域行事に参加したり防災訓練を共同で行うなど、地域とのつながりを強めていきたいと考えている。 「みはらっこ通信」を毎月発行して児童館や図書館など地域の関係機関に配布している 地域の子育て家庭に対して、園庭開放を行っている。子育て情報誌「みはらっこ通信」を毎月発行して児童館や図書館など地域の関係機関に配布している。ボランティアとして、中学生の職場体験や、高校生によるおもちゃやの病院などを受け入れた。また、実習生の受け入れも増えている。看護学校からの学生も多く受け入れている。主任が窓口となって事前にオリエンテーションを開催し、活動内容と個人情報の取り扱い等について説明している。地元の高齢者施設、障害者施設の利用者との交流を図っている。		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1) リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5 / 5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
評点(○○○○○)		
評価 ●あり ○なし	標準項目 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
様々なシナリオを想定した避難訓練を、毎月、予告なしで行い万一に備えている 火災・地震について様々なシナリオを想定した避難訓練を実施している。月に1回、ほぼ予告なしで訓練を行い万一に備えている。通院を要する事故は事故状況発生報告、通院しなくてもよい怪我などはヒヤリハット報告に記録している。事故発生時には原因の分析と再発防止策を検討して記録している。ヒヤリハット報告を集計し、職員会議で確認して事故の予防につなげている。不審者侵入を想定した訓練は、近隣警察の協力のもと実践的な訓練を実施している。津波を想定した水害対策では、年1回、小学校屋上に避難する訓練を行っている。		
法人としてパソコン上の共有フォルダを活用し、書式、会議録等のデータを共有している 子どもや保護者に関する機密性の高い情報は、他の保護者の目に触れることのないよう、事務室内で管理している。防犯カメラの設置やカードキーの導入など防犯に取り組んでいる。園内で使用するパソコンには個人別パスワードを設定して、アクセス権を限定している。ノートパソコンの保管場所も決め、施錠し管理している。書類は内容ごとにファイルして整理し、決められた場所で保管している。不要になった記録類は、溶解処理をしている。法人としてパソコン上の共有フォルダを活用し、書式、会議録等のデータを共有している。		
法人内で統一の保育ソフトを導入し、計画・記録類のICT化を進めている 法人で個人情報保護規程を制定し、全職員に周知を図っている。常勤・非常勤職員ともに、守秘義務に関する誓約書を提出させている。法人としてプライバシーマークの取得に向けて、情報管理の仕組みを導入している。連絡ノートは日中人目につかないところに保管した後、返却は手渡しで行っている。個人情報やプライバシーに関する書類は、園外への持ち出しを禁止している。取引業者等に対しても守秘義務を徹底している。法人内で統一の保育ソフトを導入し、計画・記録類のICT化を進めている。		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12／12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の

標準項目実施状況

3／3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

等級制度を導入し、等級別の職務内容を一覧にして配布している

園の人事制度に関する方針は、就業規則に記載している。職員の採用は法人で行っている。保育士フェアなどへの参加、学校への公募、ホームページを通じてなどから募集している。給与表を改善して初任給を引き上げたことにより、新入職員の予定数の確保をすることができた。職員配置は園長を中心に検討し決定している。施設間の異動希望は事前に聞いている。等級制度を導入し、等級別の職務内容を一覧にして配布している。これまで人事考課の試行を行ってきたが、今年度から本格施行となった。

看護師を講師にSIDSの予防、アレルギー対応などを学んでいる

職員の育成として、法人内合同で、新入職員研修、主任研修を行っている。園内研修として、看護師を講師にSIDSの予防、アレルギー対応などを学んでいる。外部研修にも積極的に参加させ、職員会議の中で10分間を報告の場として確保し、知識の共有を図っている。リーダー層のキャリアアップ研修も優先的に参加させている。園としてはさらに一人ひとりきめ細かく指導を行うとともに、研修の成果をさらに活かしていくと考えている。

年5回の子育て支援休暇制度など、子育てしながらでも働きやすい環境を整えている

リーダー層以上の職員は360度評価により一般職員を含む全職員から評価を受け、その結果から来年度のポジションを見直す。人事考課を行うため、リーダー層は担当する職員の観察記録ノートを記入している。義務教育の子どものいる職員には学校行事等に対応するため年5回の子育て支援休暇制度を設けるなど、子育てしながらでも働きやすい環境を整えている。若手職員への住宅借上げ制度を拡充している。今年度の事業計画に、職員全員の定時退社を目指すことを掲げており、時間外勤務の事前申請を徹底している。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 園庭の環境づくりを課題として取り組んでいる。職員内に園庭係を設けている。外部講師を招くなど、指導を受けながら進めた。子どもと一緒に植物を植えるなど、一部の環境を整えることができた。	
目標の設定と取り組み 取り組みの検証 検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 園としてはまだやり切れていないと評価しており、さらに進めるために計画を見直している。今後は、固定遊具の使い方や遊びの工夫などに広げていきたいと考えている。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

当園では、公立園から引き継いだ園舎の修繕に計画に取り組んでいる。前年度末から0歳児保育室の改修を行った。工事にあたっては、クラス会議の中で担任を中心に意見を出し合った。他園での保育経験者からも意見を求めている。明るくクッション性のある床にし、コンクリート材の壁も改修することで快適さと安全性を高めることができた。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園舎の老朽化に伴い、今後も順次改修工事を実施していく計画である。来年度に向けて、2階トイレの改修を予定している。財政面では、施設や設備の修繕など将来の支出に備えるために、内部留保の積み増しを計画的に進めていく意向である。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目																
	サブカテゴリー1																
1 サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4															
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している																	
評点(○○○○)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当															
サブカテゴリー1の講評																	
<p>ホームページやパンフレット、しおりなどの媒体から、園の情報を得ることができる 法人としてホームページを開設しており、そのなかで当園のサイトを公開している。また、パンフレットと保育園のしおりを作成して情報を提供できるようにしている。パンフレットでは、法人理念、保育方針、保育目標、クラス別保育目標、主な年間行事のほか、緑の多い公園に囲まれていることを特徴として掲げ、周辺の公園名を掲載している。保育園のしおりは、主として入園者向けに作成している。利用する上でのお願いや、園の考え方などを掲載している。</p> <p>区や複数の関係機関に園の情報を提供することで、連携を図っている 区が発行しているガイドブックや区のホームページ等にも、園に関する情報を提供している。地域の子育て家庭を対象にした子育て情報誌「みはらっこ通信」を毎月発行している。手遊びや絵本の紹介、平日の9時から11時30分に行っている園庭開放の紹介、行事の紹介等を掲載している。地域の小学校や図書館など、複数の関係機関に送付している。</p> <p>見学は事前に連絡をもらい、希望に沿って実施できるよう配慮している 見学や問い合わせには、園長、看護師、主任が主に対応している。見学は事前に連絡をもらい、保育に支障のない範囲で見学者の都合に合わせて実施している。見学者には、パンフレットを渡して説明している。特にクラスごとの取り組みや特徴、環境面の良さについては伝えるようにしている。見学者の意向を確認して、疑問点を解消できるように説明している。</p>																	

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園決定後に個別面接を実施し、意向や子どもの状態等を聞き取り記録している 入園決定後に書類を渡し、今までの生活時間、食事・健康状況、緊急連絡先など保育に必要な情報を記入してもらっている。入園式前に個別面接・健康診断を実施している。面接では、担当職員が保護者の意向、子どもの状態、家庭での状況等を聞き取り、記録している。0歳児やアレルギー・病気を持つ子どもに対しては、看護師・栄養士が個別に聞き取り、状態を把握している。基本的なルールや重要事項は、保育園のしおりを用いて入園式後の保護者会で詳しく説明している。</p> <p>慣らし保育は期間を設定しているが、保護者と相談した上で実施している 入園直後の慣らし保育については期間を設定しているが、保護者と相談した上で実施している。入園時に提出してもらった書類や面接などで、各家庭の状況・子どもの成育歴を把握している。午前寝の有無、離乳食の進み具合、好き嫌い、こだわりのあるもの等の情報を把握し、保育に活かしている。入園前の生活環境との違いを少なくすることで、心身の負担を軽減できるように配慮している。</p> <p>卒園児対象のOB交流会を実施したり、行事のお誘いの手紙を出すなどしている 転園等で退園する際には、いつでも相談に応じる旨を伝えている。卒園児を対象に、小学校の体育館を借りてOB交流会を企画している。また、夏祭りや運動会等の行事について、小学校1年生の卒園児にお誘いの手紙を出す等して、サービス終了後も継続した支援に繋がるようにしている。</p>		

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12／12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		
	評点(○○○)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		
	評点(○○○○○)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		
	評点(○○)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		
	評点(○○)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

	サブカテゴリー3の講評														
	<p>子どもたちの状況は、日誌や児童票等に記録して把握している</p> <p>子どもの毎日の状況は、0・1・2歳児は個別に、3歳児以上はクラス毎の様子を保育日誌に記録し把握している。子ども1人ひとりの発達の記録として、児童票の発達記録表に、項目別に発達の確認できた月や期をチェックし、0・1・2歳児は毎月、3歳児以上は期ごとに記録している。0・1・2歳児では、連絡ノートを使い、家庭と園での子どもの様子を確認している。計画・記録類のICT化により、日誌・週案・保育要録等を、パソコンで入力・管理している。児童票は手書きに戻した。</p>														
	<p>0・1歳児と特別な支援を要する子どもには個別の計画を毎月策定している</p> <p>子どもの日頃の様子を把握して、計画に反映している。月案は、0・1歳児と特別な支援を要する子どもには個別の計画を策定する。2歳児クラスの月案には個人別の欄を設けている。3歳児からは年齢毎に作成している。計画は各クラスの複数担任が打ち合わせをし、当月の評価・反省を踏まえて作成し、園長・主任が確認を行う。毎月の様子を入り口に書いて掲示している。毎月の目標もボードに書いて掲示している。保護者会や個人面談等で、保護者の意向や要望を聞き取っている。</p>														
	<p>各種会議や職員回覧板、登降園表などを活用して情報を共有している</p> <p>事務室に園長・看護師等からの連絡事項を記入した職員回覧板を設置し、出勤時には職員全員が確認している。登降園表(パソコン管理)には、クラスの子どもの体調や状態・登降園時に保護者から聞き取った情報等を記入し、勤務帯の異なる職員への引き継ぎに活用している。クラス会議、リーダー会議、保育リーダー会議、職員会議等を行い、様々な検討や意識の統一を図っている。会議の内容の見直しを行い、報告は極力減らし話し合いの場を多く持つようにしている。クラス会議にできる限り、リーダー、主任、園長が参加するようにした。</p>														
	<p style="text-align: center;">サブカテゴリー5</p>														
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5												
	<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p>														
	評点(○○)														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th> <th style="text-align: left; padding: 2px;">標準項目</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">○ 非該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようになっている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	○ 非該当	◉あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようになっている	<input type="radio"/>	◉あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>			
評価	標準項目	○ 非該当													
◉あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようになっている	<input type="radio"/>													
◉あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>													
	<p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p>														
	評点(○○○)														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th> <th style="text-align: left; padding: 2px;">標準項目</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">○ 非該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	○ 非該当	◉あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/>	◉あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	◉あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/>
評価	標準項目	○ 非該当													
◉あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/>													
◉あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>													
◉あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/>													
	<p style="text-align: center;">サブカテゴリー5の講評</p>														
	<p>個人情報の取り扱いについては、保護者に承諾を得ている</p> <p>法人で個人情報保護規程を策定している。他機関への情報提供、写真の掲載、公の目に触れる書類等については、保護者に使用の承諾を得るようにしている。不都合のある場合には、前もって連絡してもらっている。職員には、保育で知り得た情報を外部に漏らさないように入職時に話をしている。連絡ノートは日中人目につかないところに保管するようにしている。</p>														
	<p>普段から子どもの羞恥心やプライバシーに配慮した支援に努めている</p> <p>接遇マナーや言葉遣い等は、入職時に話をするだけでなく、普段から注意を払っている。幼児クラスも複数の職員で保育に入り、職員が孤立しないよう配慮している。子どもの羞恥心に配慮した支援としては、幼児トイレに扉を設置して周囲から見えないように工夫している。排泄の失敗の際には、他の子どもに気づかれないように対応している。プール遊びでは、シャワーはカーテンを使用して周囲から見えないように工夫したり、着替えも保育室で行う等配慮している。</p>														
	<p>虐待の情報を得た場合には、関係機関と連携して対応できるようにしている</p> <p>個々の家庭の状況を把握し、価値観や生活習慣に配慮した支援を心掛けている。虐待の疑いのある子どもの情報を得た場合や事実を把握した際には、速やかに園長に報告し、状況によって関係機関に連絡をする。区の担当課や児童相談所等、関係機関との連携体制を整えている。</p>														

サブカテゴリー6															
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5													
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当													
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当													
● あり ○ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当													
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目														
● あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当													
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当													
サブカテゴリー6の講評															
<p>基本事項や手順はマニュアルを配布したり、会議や研修を活用して周知している</p> <p>今年度は1月に、法人で作成した「保育書類書き方マニュアル」を職員に配布した。業務の基本事項や手順については、会議や研修を利用して職員全体に周知させている。園内では行事マニュアル、地震発生時マニュアル、不審者対応のマニュアル、防災マニュアル等を作成している。サービスの基本事項や手順等は、保育リーダー、クラスリーダー、乳児・幼児リーダー、主任保育士や園長等が確認を行い、必要があれば助言・指導等を行っている。</p> <p>法人内で職種別に定期的に集まり、情報を共有したり共通の課題に取り組んでいる</p> <p>法人内の他園と合同で、主任、看護師、栄養士等が職種別に定期的に集まり、情報を共有したり共通の課題に取り組んでいる。現在法人統一のマニュアルの作成に取り組んでいる。事故発生時には原因の分析と再発防止策を検討して記録している。ヒヤリハット報告書はクラスごとに集計を行い、職員会議で取り上げている。口頭や連絡帳、第三者評価の利用者アンケート、行事後のアンケート等で保護者から寄せられた意見・要望などは、職員間で見直したり、話し合うことで確認し、次年度の計画に反映するようにしている。</p>															

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○)		
評価				標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している
評価項目1の講評				
一人ひとりの発達の過程や生活環境は、児童票の発達記録にまとめて把握している 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境は、児童票の発達記録表にまとめて把握している。発達・成長に伴う変化は、乳児は毎月、幼児は1年を4期に分けて該当項目にチェックを入れ、子どもの状態を具体的に記述して発達段階を記録している。乳児は連絡ノートに家庭と園での子どもの様子を記録している。職員は、クラス会議・保育リーダー会議・リーダー会議・職員会議などを開催して子どもの状況を確認するとともに、出勤時には職員回覧板に記載された情報やパソコン内の登録園表に入力された連絡事項を確認してから保育を実施している。 生活のなかで異年齢との関わりを持ち、自分や互いの良さを認め合う経験を積んでいる 幼児は年齢の違う子どもと日常的に交流する機会がある。幼児は、月1回異年齢のグループごとに公園や園庭で遊んだり、給食と一緒に食べるなど、小さな子どもへの思いやりの気持ちや年上の子どもへの憧れの気持ちなどを育んでいる。また、様々なクラスを組み合わせて公園や園庭で遊ぶ機会を設けている。また、国籍・文化の違いや食物アレルギーで食事が異なる場合は、その違いについて子どもにわかりやすく説明している。年長児は帰りの会で、良いところ探しをテーマにしており、子どもがお互いを認め合うことで自分の良さを知る経験を積んでいる。 子ども同士のトラブルは互いの気持ちを尊重し、年齢・発達段階に合わせて対応している けんかなど子ども同士のトラブルは、乳児は子どもの話をよく聞き、職員が気持ちを代弁して仲立ちをしている。幼児は自分たちで解決できるように当人同士で話し合う機会を設け、話し合いの後には職員が双方の気持ちを必ず確認している。かみつきなどのケガを未然に防ぐため、小さなトラブルもヒヤリハット事例として記録し、リーダー会議で対策などを検討する。トラブルがあった場合は保護者への状況説明を丁寧に行うよう心がけている。5歳児は就学に向けて近隣の保育園・小学校と交流を図り、子どもの姿を保育要録に記録して小学校へ引き継いでいる。				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>その日の活動の様子は、年齢に応じて連絡ノートや掲示と口頭で保護者に伝えている</p> <p>登園時には連絡ノートや口頭で子どもの様子を確認している。乳児は連絡ノートを使い、1・2歳児は検温、食事、健康などを記入している。降園時には口頭で子どもの様子を伝えるほか、幼児クラスは活動内容を掲示している。行事や特別な活動の際には写真も掲示している。多様な文化への配慮として、お知らせにルビをつけたり、口頭で説明するなど必要に応じて個々に対応している。登降園時に確認した内容は、パソコン内の登降園表に記録し職員間で共有している。本年度は0歳児室の改修工事をした。受け入れ等保護者も利用しやすいように配慮している。</p> <p>生活習慣は子どもの年齢や発達に応じて、子どもが自分でできるよう支援している</p> <p>食事は準備・挨拶・姿勢・食べ方などのマナーを習慣づけている。食器の並べ方や片付けなど、年齢に応じて無理のない指導を心がけている。箸への移行は食事のマナーが身につく4歳頃より始め、子どもの様子を見ながら個々に進める。トイレトレーニングは、保護者と連携を図りながら個々の状況を把握し、条件が整えば1歳児よりトレーニングパンツ・おまる・トイレ誘導を行う。子どもが意欲的に取り組めるよう遊びの中に取り入れたり、担任などが話をして伝える。移行に向け2歳児後半から持ち物の片付けや畳んでしまうことができるよう支援している。</p> <p>午睡は月齢や年齢に応じて時間や長さを調整し、落ち着いて過ごせるよう配慮している</p> <p>午睡は月齢・年齢に応じて時間や長さを調整している。0・1歳児は1人ひとりの生活リズムに合わせて個別に対応する。乳児は食事と午睡の場所を分け、落ち着いて休息できる環境を整えている。午睡前には職員が絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、子どもの気持ちが落ち着くように配慮する。5歳児は就学に向けて年明けより午睡時間を減らし、1月には午睡をなくす。2月以降は座って集中することを目的に、午睡時間を使いワークブックや製作、卒園に向けた活動等に取り組んでいる。違うクラスの職員とも交流が持てるよう全職員が交代で携わっている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(○○○○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 生活や遊びを通して、子どもがより大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがより大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがより大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当																					
評価項目3の講評																							
<p>子どもの発達や年齢に応じて保育環境を見直し、玩具や絵本を定期的に入れ替えている 「子どもの姿と目標」を年齢ごとに掲げ、生活リズムや遊びの過程を「保育園のしおり」に明示している。保育室には、人形・ままごと・手作りおもちゃ等、子どもの発達や年齢に応じた玩具を用意し遊びの環境を整えている。遊びが展開するように、おもちゃと絵本の計画を立て、子どもの様子を見ながら定期的に玩具の入れ替えを行っている。廃材を活用した製作にも取り組んでいる。子どもの手の届く位置に玩具の写真を貼付した収納棚を設置し、自ら出し入れしやすいよう配慮している。廊下に乳児・幼児別の本棚を設置し、絵本の貸し出しをしている。</p> <p>専門講師による体操教室や鍵盤ハーモニカ教室を実施し、表現力等を高めている 幼児は挨拶・出席確認・草花の水やり・掃除・給食の盛り付けや配膳等の当番活動を1週間交代で行う。個々に役割を決めて取り組むことや、一人ひとりが責任を持って集団生活に関わることを経験している。外部講師による活動を取り入れ、4・5歳児は体操教室・鍵盤ハーモニカ教室を実施している。活動では感じたことを表現したり、身体を十分に動かすこと等を学び、運動会の競技や親子で遊ぼう会では劇等を発表している。また、5歳児がひまわりを栽培して種を収穫し、翌年には4歳児がその種を蒔いて育てている。</p> <p>戸外活動や野菜の栽培を通して、自然に触れ、季節を感じられるよう働きかけている 保育園のしおりに「お散歩マップ」を掲載し、近隣の公園や遊歩道を紹介している。天気のいい日は、目的と年齢に応じた公園を選択して散歩へ出かけ、大型遊具で遊んだり、広場でかけっこや探索をする等、思い切り体を動かして遊んでいる。秋には落ち葉の感触を楽しんだり、どんぐりや落ち葉を作品にする等自然に触れる機会を設けている。5歳児は地域清掃の日を設け、公園のごみ拾いをしている。また、幼児の遠足ではミカン狩りに行き収穫を体験するほか、園庭のプランターで、一年を通じてさまざまな植物や野菜を栽培し、食育活動にもつなげている。</p>																							
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当																					
評価項目4の講評																							
<p>行事に関しては、子どものイメージを尊重し、みんなで協力しながら取り組んでいる 七夕・夏まつり・餅つき・節分など季節の行事を実施している。行事の際はその都度由来を伝え、行事にまつわる話や製作を行う等、子どもが興味を持って取り組めるようにしている。お店屋さんごっこは、5歳児が中心となり販売する商品を決めて製作を行っている。また、幼児はクラスごとに親子で遊ぼう会を開催し、鍵盤ハーモニカ教室で練習した歌・劇・演奏を披露している。劇では、自ら取り組めるよう子どものイメージを尊重し相談しながら作り上げ、クラス全体で楽しめるよう工夫している。子どもの誕生日には、その日にクラスでお祝いをしている。</p> <p>宿泊保育など様々な体験を通して、充実感や達成感が得られるよう取り組んでいる 運動会は近くの小学校の校庭を借りて実施している。さまざまな競技を行うことで友だちと一緒に運動する楽しさを知り、目標を達成する喜びを味わうことができるよう取り組んでいる。5歳児は、伊豆高原にある大田区の施設を利用して、1泊2日の宿泊保育を実施している。保護者と離れることやクラスの仲間と協力して山登りを行うこと等、普段の生活の中では味わうことのできない体験をたくさん行えるようにプログラムを設定している。宿泊保育に対する保護者の理解と協力を得るために、事前に説明会を開催している。</p> <p>行事の実施後にアンケートを行い、保護者の意見・要望を次の計画に反映している 年度初めに年間行事予定表を保護者に配付するほか、行事の開催前には改めてクラスだよりや掲示でお知らせしている。保護者も参加する夏まつり・運動会・親子で遊ぼう会の実施後にはアンケートを行い、意見や要望を次回のプログラムに反映している。年2回保護者会を開催している。春の保護者会は土曜日に開催し、多くの保護者が参加しやすいよう配慮している。冬の保護者会は、幼児クラスは親子で遊ぼう会と同日に開催し、おやつの試食を行っている。個別面談は期間を設けて実施し、保護者の都合に応じて時間をかけて行うようにしている。</p>																							

5評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 保育時間の長い子どもが安心してくつろげる環境になるよう配慮をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心してくつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心してくつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当															
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当															
評価項目5の講評																	
<p>0才児室の改修工事をし、安全で温かみのある保育室となるように整備している</p> <p>公立園から引き継いだ園舎を修繕しながら使用している。今年度は0歳児保育室の改修工事を行った。一日の保育の流れを考慮したレイアウトとし、職員が意見を出し合いながら保育室・調乳室・調理室・沐浴室・受入れコーナー等の配置がなされた。置・ゲート等を新しくし、床材はクッション性のあるものを使用するなど安全性を高めている。継続して専門家の指導の下、園庭の整備を行っている。遊具の設置や既存の遊具を活用しながら遊び込めるスペース、自ら出し入れしやすい道具の整備等、子どもの自主性を尊重した空間となるよう環境を整えている。</p> <p>家庭的な雰囲気のなかで、子どもがゆったり過ごせるような時間や場所をつくっている</p> <p>子どもが園で長時間過ごすことを考慮し、家庭的な雰囲気でゆったりとくつろいで過ごせるよう努めている。多目的に使えるホールでは、広いスペースを利用して運動をしたり、幼児が午睡を行っている。延長保育の時間帯は、1歳未満の子どもと1歳以上の子どもを分けて保育を実施している。1~5歳児は4歳児の保育室で一緒に過ごす。夕方は落ち着いて過ごすことができるよう配慮している。それぞれの年齢に応じた玩具を用意して遊びのコーナーを設定したり、生活の中から文字や数字・曜日などに興味が持てるよう絵本やかるた・図鑑を配置している。</p> <p>職員間で引継ぎ事項を共有し、保育時間が長い子どもが安心して過ごせるようにしている</p> <p>熱中症やインフルエンザの危険度が表示される温湿度計を各保育室に設置し、室内環境を整えている。手洗いは全てペーパータオルを使用する等、衛生面にも配慮している。職員回観板や登降園表等を用いて、保育中の子どもの様子や引き継ぎ事項、登降園時に保護者より聞き取りした内容等を全職員で共有している。勤務時間帯の異なる職員には記録や口頭で引き継ぎを行い、保育時間の長い子どもが安心して過ごせるよう努めている。</p>																	
6評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(○○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. メニュー・味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. メニュー・味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当															
◎あり ○なし	2. メニュー・味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当															
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当															
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当															
評価項目6の講評																	
<p>食事のマナーを身につけながら、楽しい雰囲気で食事ができるよう配慮している</p> <p>子どもがみんなと同じものを食べることで親近感を持ち、食事のマナーを身につけながら楽しい雰囲気のなかで食事の時間を過ごせるように配慮している。区立保育園の統一献立に基づき、園独自の献立を作成している。なるべく化学調味料は使わず、砂糖の使用を控え、出汁を活かした薄味で調理をするように心掛けている。餅つきや節分等の行事の際には、食に関する風習等を取り入れ、見た目や食べやすさを考慮した行事食を提供するほか、月数回、郷土料理や世界各国のおやつ等も提供している。</p> <p>食物アレルギーについては、医師の指示のもと個別に対応している</p> <p>食物アレルギーがある場合は、医師の指示に基づき除去や代替食で対応している。文化や習慣の多様性に対しても個別に対応している。誤食を防ぐため、トレーを使い食器の柄や座席を分け、盛り付けは給食室で行い、除去内容を確認しながら調理や盛り付け担当者より担任に手渡している。お替りはあらかじめ用意している。毎月職員・栄養士・調理担当者が離乳食の打ち合わせを行い、咀嚼力を鍛えて食材の味を知る事ができるよう調理を工夫している。新しい食材を提供する際は、家庭で食べているものを保護者が記入した食材チェック表で確認し進めている。</p> <p>プランターでの野菜栽培や調理活動で食材に触れ、食への関心が高まるよう工夫している</p> <p>幼児が中心となりプランターで一年を通じて野菜を栽培している。当番で水やりや観察を行い、収穫して調理活動や給食の食材として使用している。バス遠足ではミカン狩りに行き収穫体験をする。珍しい食材を給食で提供する際は、子どもに紹介する等食への興味・関心が高まるよう工夫している。各クラスに栄養士または調理担当者を1名ずつ配置し、食育活動を実施している。食器や箸の持ち方・姿勢等の指導を行い、担任と相談しながら調理活動に取り組んでいる。毎月献立表・給食だよりを発行するほか、給食サンプルの展示やレシピを紹介している。</p>																	

評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

看護師が保健指導を行い、手洗い・うがいを習慣化して、感染症の予防に努めている

看護師による保健指導を実施している。手洗い後にブラックライトを当てて汚れを確認し、手洗い・うがいを習慣化して感染症の予防に努めるほか、歯の染め出し体験を行い歯みがき指導を実施している。子どもの五感を育むため薄着を推奨している。乳児は日中裸足で過ごし、延長保育時には園の上履きを貸し出している。また、散歩に出かける際は、交通ルールやマナーについてその都度子どもに伝えている。公園では初めに危険個所や注意点を子どもに伝えてから遊ぶようにしている。幼児を対象に警察署員による交通安全指導を受けている。

定期的に身体測定・健康診断等を行い、子どもの健康や発育状況を把握している

全園児を対象に毎月身体測定を行い、年2回歯科検診を実施する。健康診断を0歳児は月2回、1歳児以上は年2回行い、子どもの成長や健康状態を把握している。薬は原則預からないが、主治医が必要と判断した場合は保護者より与薬依頼書等の提出を受けて園長・看護師が1回分の薬を預かる。熱性痙攣薬は使用のタイミングを確認してから預かり、看護師が専用庫で保管する。発熱で使用が必要な場合は改めて保護者に相談した上で対処する。夏期には虫よけのアロマスプレーを使用し蚊の駆除に努める。職員は救命救急講習を受講して緊急時に備えている。

乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防のため、午睡中の子どもの様子を確認している

乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防のため、午睡の際は0歳児は5分、1・2歳児は10分おきに呼吸・顔色・姿勢・発汗等を確認している。幼児は30分おきに全体の様子を確認し、必要に応じて個別の記録を行う。また、体温不良や痙攣については個別に確認する。衛生面に配慮してクラスごとに布団を干す日を決め、該当クラスの保護者には登園時に布団干しをお願いしている。毎月保健だよりを発行し、感染症予防・健康管理について保護者に注意点や対応方法を伝えている。園内で感染症が発生した場合は、各クラスの入り口にて情報を掲示している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをできるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

2時間の延長保育を実施しており、必要な方が利用できるようにしている

18時15分～20時15分まで、2時間の延長保育を実施している。延長保育は、事前に申込みをしてもらうことになっているが、保護者の就労状況等に配慮して、急な依頼(スポットでの利用)にも柔軟に対応している。1時間の延長を超えた場合に希望される方には有料で夕食を、その他の子どもにも補食を提供している。事前申し込みでベビーカーの預かりも行っている。オムツは園で処分している。

各種行事や保護者会などで、保護者同士の交流を図っている

各種行事を通して、保護者同士が交流できる機会を設けている。年度初めに年間行事予定表を保護者に配付している。保護者に参加してもらう行事として、夏祭り・運動会・親子で遊ぼう会等がある。保護者会では園の方針や子どもたちの状況を伝え、保護者が抱えている共通の悩みなども、気軽に語り合える場となるように努めている。テーマについて事前にアンケートを取り、グループ懇談の時間を設け、交流ができるようにしている。保育の様子を写した写真をスライドにして映し、見てもらえるようにしている。

個人面談や保育参観・参加などの機会を通じて保護者と共通認識が持てるようにしている

父母会「らっこの会」との意見交換会に園長・主任が出席して信頼関係の構築に努めている。面談は保護者の希望があれば、随時受け入れている。また、年度内に1回、個人面談を設定している。個人面談は保護者とのコミュニケーションを重視しているため、じっくりと話をするようにしている。保育参観や保育参加は、設定した期間以外でも希望に応じている。保育参加の際、試食も希望があれば受け入れている。

9評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

行事などを地域に開放しており、地域の方と交流する機会としている

夏祭りや運動会を園内で実施する際に、地域の掲示板や案内状・情報紙で近隣の方の参加を呼びかけている。小学校の臼や杵を借りて餅つきをしたり、地域の神社でお祭りがある時には、幼児が手作りの神輿を担いだり、山車を曳いて園の周囲を練り歩いて交流している。年長児は就学に向けて、小学校との交流の機会を設けている。また、小学生とのOB交流会を実施している。

中学生や高校生、実習生など、様々な人と交流する機会がある

ボランティアとして、中学生の職場体験や、高校生によるおもちゃの病院等を受け入れている。また、保育士養成校の実習生も受け入れている。看護学校からの学生も多く受け入れ、園児と交流を図っている。他園との交流の機会も設けている。高齢者施設との交流があり、行事に参加する等して関わっている。地域の子育て支援として園庭開放や保育所体験を実施して交流している。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	専門講師による教室活動・当番活動・散歩での自然探索等を保育に取り入れている	
内容①	<p>児童は当番活動を行っている。個々に役割を決めて取り組み、一人ひとりが責任を持って集団生活に関わることを経験している。外部講師による体操教室・鍵盤ハーモニカ教室を実施している。発表の場として、運動会や親子で遊ぼう会を設定している。戸外活動では、目的と年齢に応じた公園を選択して散歩へ出かけ、大型遊具で遊んだり、広場でかけっこや探索をする等、思い切り体を動かして遊んでいる。落ち葉の感触を楽しんだり、どんぐりや落ち葉を作品にする等自然に触れる機会を設けている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	園行事は、友だちと協力したり、やり遂げたり、様々な経験ができるよう展開している	
内容②	<p>親子で遊ぼう会を開催し、鍵盤ハーモニカ・歌・劇・演奏を披露している。劇は自主性を尊重し、クラス全体で楽しめるよう工夫している。誕生日は、その日にクラスでお祝いをしている。運動会は、友だちと一緒に運動する楽しさや、目標を達成する喜びを味わうことができるよう取り組んでいる。5歳児は1泊2日の宿泊保育を実施している。保護者と離れることやクラスの仲間と協力して山登りを行うこと等、普段の生活中ではできない体験ができるようにプログラムを設定している。保護者の理解と協力を得るため、事前に説明会を開催している。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	安全でおいしい給食の提供と、食育活動を展開し、食への興味を深めている	
内容③	<p>安全でおいしい給食の提供に努めている。食材はなるべく化学調味料は使わず、砂糖の使用を控え、出汁を活かした薄味としている。行事食のほか、月数回、郷土料理や世界各国のおやつ等も提供している。食物アレルギーには医師の指示のもと除去や代替食で対応し、園全体で誤食の防止策をしている。文化や習慣の多様性に対しても個別に対応している。食育活動は、栄養士や調理担当を各クラスに配置し、野菜栽培・調理活動・食器や箸の持ち方等の指導を実施して、食への興味・関心が高まるよう取り組んでいる。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの自主性を尊重し、年齢や発達に応じた保育環境を整えている
	内容	乳児は遊びと生活の空間を分けて、落ち着いて過ごせるよう配慮している。幼児は子どもが自ら遊びを選択できるよう環境を整えている。当番活動では、1週間交代で給食の盛り付けや配膳・野菜や植物の世話・掃除などを通じて、1人ひとりが責任を持って集団生活に関わることを経験している。また、生活のなかで異年齢で活動する機会をつくり、子ども同士の関わりを通してお互いの成長を促し、自分や互いの良さを認め合えるよう支援している。
2	タイトル	年間を通して様々な行事に取り組み、充実感や達成感を味わうことができるよう支援している
	内容	外部講師による体操教室・鍵盤ハーモニカ教室を実施している。発表の場として、幼児はクラスごとに親子で遊ぼう会を開催し普段行っていることを披露している。運動会では友達と一緒に運動する楽しさを知り、目標を達成する喜びを味わっている。5歳児は伊豆高原で1泊2日の宿泊保育を実施している。保護者と離れることやクラスの仲間と協力して山登りを行うこと等、普段の生活の中では味わうことのできない体験をしている。
3	タイトル	野菜の栽培や収穫・調理体験などの食育活動を通して、食への興味や関心が高まるよう取り組んでいる
	内容	各クラスに栄養士や調理担当者を配置し、担任と意見交換をしながら食育活動に取り組んでいる。食事のマナーを身につけながら楽しい雰囲気で食事ができるよう配慮し、年齢に応じた食事教育を取り入れている。箸への移行は子どもの様子を見ながら個々に進めている。1年を通じてプランターでの栽培・収穫をしている。当番で水やりや観察を行い、収穫して調理活動や給食の食材として使用している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人内の各園で保護者対応に差が出ないよう、統一したマニュアル作りに取り組む
	内容	法人内に保育園が複数あるため、法人内で統一したマニュアル作りに、法人園長会議、主任会議を中心にして取り組んでいる。業務の標準化については、職員の自己評価でも要改善点として挙げられていた。正規職員は法人内で異動もあるため、保護者対応に差が出ないよう、職員内にしっかりと周知していきたいと考えている。
2	タイトル	定期的な事故の振り返りなどから、接遇のさらなる向上が期待される
	内容	今回の保護者アンケートでは、総合的な園の感想としてほぼすべての方が高い満足度を示されていた。一方で、職員の言葉遣いや子どもへの対応等が要改善点として挙げられていた。職員間で園の考え方や留意点を再確認とともに、リーダー層からの指導、定期的な自己の振り返り、マニュアル化、園内研修等を通じて、接遇のさらなる向上を図っていくことが期待される。
3	タイトル	ICTのさらなる活用や、行事内容の見直しなどにより、職員の業務負担軽減に取り組む
	内容	今年度の事業計画に、職員全員の定時退社を目指すことを掲げた。今回の職員自己評価では、時間外勤務の事前申請を徹底することでサービス残業がなくなったことを良い点として挙げる一方で、事前申請の出しにくさなどが要改善点として出されていた。業務負担が軽減しないと時間外勤務は減っていかないため、ICTのさらなる活用や、行事内容の見直しなどにより、就労環境のさらなる改善に取り組んでいく意向である。